



コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館
(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会)

TEL : 0220-55-2124
FAX : 0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



交通死亡事故ゼロ3500日達成!!!



吉田地区での交通死亡事故ゼロの日数が令和5年6月1日で3500日を達成し、当コミュニティ運営協議会の佐藤副会長が表彰式に出席しました。

この功績は吉田地区の皆様をはじめ、多くの皆様による交通安全に対する絶え間ない心がけの結果です。

今後も、安心安全な吉田地区を目指していきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

第17回 平筒沼ブラックバス・ブルーギル釣り大会 開催(6月11日)



優勝した佐々木さん

釣り上げた、48cmのブラックバス

毎年恒例の外来魚駆除を目的とした、平筒沼釣り大会に28名が参加。48cmのブラックバスを釣り上げた迫町の佐々木慶太さんが優勝、大型賞も受賞。「天気は曇りだったので、条件は良かったと思います。48cmのブラックバスは引きがとても強く、大変でしたが釣ることができて良かったです。」と佐々木慶太さん。

今大会ではブラックバス11匹、ブルーギル191匹、合計重量7.32kgを釣り上げ、平筒沼の生態系保全の一助につながったと思います。参加された皆さん、ありがとうございました。

吉田コミュニティ運営協議会移動研修会(6月22日・23日)

6月22日・23日に山形県置賜地域に出向いて勉強してきました。小学校の廃校利用の成功例で全国的に有名な山形県高畠町の高畠熱中小学校を視察しました。1978年に俳優の水谷豊が主演して大ヒットしたテレビドラマ熱中時代(教師編)のロケ地となった時沢小学校が2010年に廃校となり、その跡地を活用して2015年にできたのが高畠熱中小学校でNPO法人はじまりの学校が運営しています。

廃校利用の経緯や現在の事業内容、収支状況等を学んできました。「もう一度7歳の目で世界を…」をテーマに大人の学び舎として、起業したばかりの人たちの貸事務所として、また、体験交流施設として利用されています。この事例が吉田地区に即あてはまるものではありませんが、2年後に迫った米山東小学校の廃校、そしてその利活用を考える上で、廃校利用の成功例を学んだことは意義深いものと考えています。

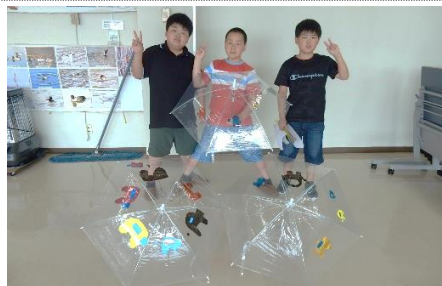


裏面もご覧ください ➡

楽創部会・安心安全部会・すこやか部会合同会議

6月21日（水）に3部会合同会議を開催しました。コロナ禍以前には各部会役員の皆さんに盆踊り大会やコミュニティ運動会などの運営面を担っていただいております。3年間中止したこと、新任の方が増えたこともあり、改めて協力をお願いするために集まいただき、令和元年度の資料を基に役割等について説明しました。行政区長さんと3つの部会の皆さんや体育振興員の皆さんと、協力して運営することを確認いたしました。8月16日は盆踊り大会、9月3日はコミュニティ運動会です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

キッズサークル『開級式並びに第1回楽習会』開催（6月10日）



14名の楽級生全員が参加し、自己紹介やリーダー、副リーダー決め、オリジナルパラソル作りを行いました。

オリジナルパラソルづくりでは、自分達の好きなキャラクターをシールで作って貼ったり、絵を書いたりしていました。

どの楽級生のパラソルも個性あふれる作品になりました。梅雨に入り、傘の出番が増えてくると思います。ぜひ世界に一つだけのオリジナルパラソルをさしてみたいはいかがでしょうか。

吉田先人大学『開級式並びに第1回学習会』開催（6月14日）



35名の学級生が参加し、盛りだくさんの内容で学習会を開催。開会式では、今年4月に新しく赴任してきた宮城県佐沼警察署吉田駐在所 宮城県巡査相馬拓氏よりご挨拶をいただき、第1部では、明治安田生命 登米営業所 営業所長 新海祐太氏を講師に迎え、「“相続”と“争族”のはなし」と題し講演会第2部では、株式会社マルシンク取締役 健康運動指導士 薄井愛氏を講師に迎え、「椅子に座ったままできる健康体操」をご指導いただきました。

参加された皆さんからは「相続が争族にならないようにもっと勉強したい。」「体操で体を動かして、心も体もリフレッシュできて良かった。」など、とても好評でした。

第2回学習会も7月13日（木）に2部構成で行います。第1部は明治安田生命を講師に迎え、「MYライフ&エンディングを考えよう」と題し講演会、第2部では、大塚製薬株式会社を講師に迎え「上手な水分補給について」教えていただきます。ぜひ、私たちと一緒にたくさんのことを学んでみませんか。

吉田女性サークル『開級式並びに第1回学習会』開催（6月16日）



10名の学級生に参加いただき、“令和5年度を楽しく過ごすために実りのある学習計画を立てよう！！”ということで、今年度の学習計画を話し合いました。講話や移動研修、秋に開催される、よねやま文化祭に向けての作品作りなどたくさんの意見が出ました。

今年度も充実した、楽しい1年間になりそうですね。

館長の戯言（ざれごと）No. 20 「うるかす、うるがす」

娘が連休に帰ってきて飲みながら「うるかすって共通語だと思っていたら方言だった。東京の人に伝わらなかった。」と「そんなことねえべ。潤いとか潤す（うるおす）からできた言葉だもの共通語だべや。」と。すぐネットで調べると残念ながら東北や北海道で「こびりついた汚れを水につけて柔らかくする。米や豆を水に浸して柔らかくする。」などの意味で使われている方言でした。

「うるかす」は潤すの「うる」と「かす」からできている単語、潤すは「濡らす。湿らす。」の意味ですが、かすの意味は何か、驚かすや脅かすの「かす」かなと思いながら広辞苑を引いてみてビックリ。か・す【[漸す・浸す]】①米を水で洗う。とぐ。新撰字鏡「米加須」②水につける。ひたす。とありました。新撰字鏡とは平安時代の漢和辞典で「米加須」は米を洗うという意味とのこと。「うるかす」とは「潤漸す」だったのでないか。きっと平安時代から使われていた言葉で、東北地方に方言として残った古語だったのではないかと考えます。